

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかけわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



オヤマボクチ



ナナカマド

11月24日(土) くもり リースを作りました!

昨日は勤労感謝の日でした。「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日ですが、その起源は、収穫物に感謝する大事な行事として、飛鳥時代に始まった新嘗祭(にいなめさい)です。日本では、古くから神々に五穀の収穫を祝う風習があったのです。

秋がいよいよ深くなり、田んぼの収穫も終わりました。里山の木々は、はらはらと落葉しています。

リースの材料集め

クズのツルとり、松ぼっくりやその他の木の実、きれいな葉っぱなど、リースの材料を集めました。

里山の木のことも学びましたよ!



松ぼっくり拾い



クズのツルとり



オウゴンヒバ

リースづくり! 里山で集めた材料で、家族ごと に小さなリースをつくりました。



巨大リースづくり!

大きな、大きなリースを作って、国道286号沿いの斜面の下に飾りました!

芯は竹を割いて円をつくり、その周囲にスギの葉っぱを付けて、木の実や綿で飾りました。

国道を通るときに、ぜひ見つけてください!



リースの芯



飾りつけ